

経済日誌

3月

P=ポイント

国	内	県	内
2日	2021年10～12月期法人企業統計、経常利益4期連続プラス 2021年10～12月期の法人企業統計では、新型コロナウイルス感染拡大が落ち着いた時期と重なり、全産業(金融業、保険業を除く)の経常利益は前年同期比24.7%増の23兆145億円と4期連続のプラス。	2日	「宮崎の食の輸出を進める会」、統一ブランド立ち上げ 「宮崎の食の輸出を進める会」は、米国市場向けの統一ブランド「Yummy-ITADAKIMASU」を立ち上げた。ヤマエ食品工業㈱など複数の食品事業者が主体となり、統一ブランドのもとに海外市場を目指す。
3日	2月消費動向調査、消費者態度指数3カ月連続悪化 2月の消費動向調査では、消費者意識を表す消費者態度指数(2人以上の世帯、季節調整値)は前月比1.4P低下の35.3と3カ月連続の悪化。消費者マインドの基調判断は「弱含んでいる」と前月から下方修正。	3日	高鍋町、「ゼロカーボンシティ」宣言 高鍋町は、2050年までに二酸化炭素(CO ₂)排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言。町民や事業者と連携・協働で取り組む。まずはリサイクルの推進や食品ロス削減などを町民に啓発していく。
8日	1月景気動向一致指数、4カ月ぶりに悪化 1月の景気動向一致指数(速報値、2015年=100)は、前月比0.5P低下の94.3と4カ月ぶりに悪化。一致指数を構成する10指標のうち、集計済み7指標の4指標が低下した。	6日	本県、まん延防止等重点措置終了 本県に適用されていた「まん延防止等重点措置」が終了。県は感染再拡大への警戒を強めるため、県独自の「感染拡大緊急警報」を継続し、全域を「感染急増圏域(赤圏域)」に指定した。
8日	1月国際収支状況、2カ月連続経常赤字 1月の国際収支状況(速報)は、輸出から輸入を差し引いた貿易収支が▲1兆6,043億円と赤字幅が拡大したことで、海外とのモノやサービスなどの取引状況を表す経常収支が▲1兆1,887億円と2カ月連続の赤字。	8日	本県、2020年林業産出額255億円 農林水産省が発表した2020年林業産出額によると、本県の産出額は前年比11.4%減の255億円と全国4位。うち木材生産産出額は197億7,000万円と同2位。しいたけ産出額は397億円と同3位となった。
8日	2月景気ウォッチャー調査、景況感2カ月連続悪化 2月の景気ウォッチャー調査では、景気の現状判断指数(DI、季節調整値)は前月比0.2P低下の37.7と2カ月連続の悪化。雇用関連指数は上昇したものの、家計動向関連と企業動向関連の指数が低下した。	13日	五ヶ瀬ハイランドスキー場、今季営業終了 五ヶ瀬ハイランドスキー場は、ゲレンデ状態の良さから営業期間を1週間延長して今季の営業を終了。入場者数は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたものの、昨季比50%増の2万4,756人。
8日	2月全国企業倒産件数、9カ月ぶりに前年同月上回る ㈱東京商工リサーチによると、2月の全国企業倒産件数(負債額1,000万円以上)は、前年同月比2.9%増の459件と9カ月ぶりに前年同月上回った。新型コロナウイルス関連倒産は同23.4%増の142件。	14日	「J-Startup KYUSHU」企業、本県4社選定 九州経済産業局は、九州で活動するスタートアップ(新興企業)33社を「J-Startup KYUSHU」企業として選定。本県からは㈱Smolt、㈱ワン・ステップ、㈱ATOMica、㈱SUNAO製菓の4社が選定された。
11日	1月家計調査、消費支出実質で6カ月ぶりにプラス 1月の家計調査では、消費支出(2人以上の世帯)は1世帯当たり28万7,801円。物価変動の影響を除いた実質で前年同月比6.9%増加し、6カ月ぶりにプラスに転じた。	18日	JA 宮崎経済連グループの「茶総合拠点」完成 本県荒茶生産量の約6割を取り扱うJA 宮崎経済連グループの新たな「茶総合拠点」が完成。これまで分散化していた加工施設や低温倉庫等の機能を宮崎市富吉地区の一カ所に集約。
11日	1～3月期法人企業景気予測調査、大企業景況感悪化 1～3月期の法人企業景気予測調査では、大企業全産業の景況判断指数は▲7.5と3四半期ぶりにマイナス。新型コロナウイルス感染拡大や原材料価格高騰などが影響。	22日	「延岡駅西口街区ビル」開業式 延岡市幸町の「延岡駅西口街区ビル」の開業式が行われた。仕事と生活の拠点として整備され、延岡市が設置しているコワーキングスペースや延岡商工会議所、IT企業などが入居。
16日	2月貿易統計、輸入額前年同月比34.0%増 2月の貿易統計(速報)では、輸出額は鉄鋼などの増加で前年同月比19.1%増の7兆1,901億円。輸入額は原油や天然ガスなどの増加で同34.0%増の7兆8,583億円。いずれも2月単月としては過去最高額。	27日	「飢肥城歴史資料館」「小村寿太郎記念館」リニューアル 日南市の「飢肥城歴史資料館」と「小村寿太郎記念館」が多様化する観光客ニーズを受け、リニューアルオープン。「小村寿太郎記念館」は旧「国際交流センター小村記念館」から名称を変更。
25日	3月月例経済報告、景気判断据え置き 3月の月例経済報告では、景気の基調判断を先月に引き続き「一部に弱さがみられる」と据え置いた。先行きについては、持ち直しへの期待がされるものの、ウクライナ情勢等の注視が必要とした。	30日	2020年市町村別農業産出額、都城市が2年連続日本一 2020年市町村別農業産出額(推計)で、都城市が865億円と2年連続日本一。都城市は、主要部門産出額でも肉用牛が187億円、豚が284億円といずれもトップ。プロイラーでは日向市が215億円とトップ。